

# TOEXのシェルターで 快適な空間づくりを

外出先で雨や強い日差しから守ってくれるシェルター。  
バスや車の乗り降りはもちろん、短距離の移動や休憩の際に、  
屋外に設けた小さな屋根が人々の気持ちを和ませます。  
TOEXではデザインや素材にバリエーションをもたせ、  
その場に合ったシェルターを提案しています。



プロダクト  
Product  
Message  
メッセージ

## シェルター

### 透明感あふれる憩いの場

りんくう 人工海浜 (愛知県常滑市)

[オリジナルシェルター] スチール製パーゴラ

中部国際空港の対岸に位置する愛知県常滑市。空港と共存する新しい都市拠点の形成を目指し、伊勢湾沿岸常滑海岸りんくう町地区海岸人工海浜を造成しました。約630mに及ぶ「りんくう人工海浜」には、空港から飛び立つ飛行機や美しい夕日を眺めたり、砂遊びを楽しむなど、憩いを求めて多くの人々が訪れます。白い枠のアルミと半透明なすりガラス調のポリカーボネートはコの字形のものを組み合わせ、明るく斬新なデザインに。青い空と海にマッチして爽やかな空間を演出しています。



2種類の屋根材を採用。日差しを防ぐアルミ屋根の下には、くつろげるテーブル・ベンチセット、透明なポリカーボネートの下にはベンチが配置されています



屋根にソーラーパネルを設置して、人工木柵にはLED照明を内蔵



LED照明で夜の海辺を明るく照らします

## 自然環境と共存する機能性

### 検見川の浜（千葉県千葉市）

【通路・バス停・駐輪場用シェルター】クレフヤードFXA型（ステール部アルミメッキ仕様、みかげ石塗装化粧柱仕様、ソーラーパネル、LED照明内蔵仕様）【手すり】サポートレール3型（脱輪防止柵付）【柵】楽樹LJ型（LED照明内蔵仕様）、POI（バラスターカバー付、手すり付）

「検見川の浜」は、海に親しめるようにと整備された人工海浜です。長い年月の間に侵食されたことなどから、護岸の整備を実施。バリアフリー化を進め、また、ウインドサーフィン専用ゲレンデとして公認されています。海岸に設置されたシェルターにはアルミメッキを採用して、しっかりと塩害対策。LED照明は、環境にやさしいソーラーパネルによる自然エネルギーで発電しています。



スロープにはバラスターカバーで波形をデザインしたアルミ柵を設置



## 学びの場を快適に

呉市立昭和中央小学校 (広島県呉市)

[通路・バス停・駐輪場用シェルター] クレファードFXA型  
[手すり] サポートレール3型

広島県呉市の市街地北部に位置する灰ヶ峰は夜景で有名なスポット。その峰の北麓、小大庭丘に立ち創立38周年を迎えるのが呉市立昭和中央小学校です。渡り廊下の屋根が老朽化したため、新しくシェルターを設置。天候を気にせず気持ちよく教室を行き来できるようになりました。

## 楽しくスポーツ観戦を

新横浜公園テニスコート  
(神奈川県横浜市)

[通路・バス停・駐輪場用シェルター] アルクヤードAY型

新横浜公園は、横浜市内最大の運動公園。園内には日産スタジアムがあり、その北側にテニスコートがオープンしました。プロ仕様の全天候型ハードコートは計10面。コートの数に合わせて置かれたベンチには、見学者に配慮して雨よけのシェルターが設置されています。



## 積雪から子どもたちを守る

大仙市立協和小学校  
(秋田県大仙市)

[通路・バス停・駐輪場用シェルター] ビートヤードBY型

大仙市立協和小学校は、荒川小・稲沢小・小種小・船岡小・峰吉川小・淀川小の6校が統合し、2008年4月に開校したばかりの新設校。厳しい冬を迎える東北地方では、積雪対応の丈夫なシェルターが欠かせません。登下校の際には、冷たい雪や雨から子どもたちを守ります。



## きれいを保ち気持ちよく

駒大深沢キャンパス前バス停  
(東京都世田谷区)

[通路・バス停・駐輪場用シェルター] クレファードCXA型

環境問題を視野に入れて事業を推進している東急バス。その標準仕様のバス停です。統一感をもたせるため、すべてのバス停の屋根を、すりガラス調に。柱の素材はステンレスでメンテナンスフリーが好評です。また、張り紙防止シートでシール類による汚れ防止に対応しています。

## 気配りでやさしい空間に

名神高速吹田サービスエリア下り線  
(大阪府吹田市)

[通路・バス停・駐輪場用シェルター] フラットヤードFY型 (サイドパネル三面囲い、喫煙サイン付)

サービスエリアでは分煙化が進み、喫煙コーナーは建物から少し離れた野外がほとんどです。TOEXのフラットヤードFY型を利用したスモキングエリアは、デザイン性の高いブルーのサインが目印。喫煙場所がどこから見てもわかります。三面を囲い、後方にある福祉施設に煙が回らないよう配慮しました。





相對して置くことでシェルターの曲線が生かされています

## 快い景観をつくる

明石医療センター（兵庫県明石市）

〔通路・バス停・駐輪場用シェルター〕アルクヤードAY-1型  
 〔駐輪場用シェルター〕サイクルポートSZ-A型

看護学校が併設されている大規模医療施設です。老朽化に伴う全面建て替えて、2008年春に新しい姿になりました。東畑建築事務所の設計による7階建ての建物は、播磨灘の穏やかな風土になじむ洋瓦を屋根に用い、外壁は暖色系のタイル張り。そんな外観に合うシャイングレー色のシェルターは、雨や日差しを避けるために建物からバス停まで続いています。駐輪場はアール形状の屋根を向かい合わせて置くことで、デザイン性がうまく表現されました。

## 交通手段をサポート

広島市立広島市民病院（広島県広島市）

〔通路・バス停・駐輪場用シェルター〕アルクヤードAY型

広島市民病院は市街地の中央に位置し、日々多くの市民が訪れています。5年にわたる増改築で整備された病院の駐輪場には長さ20mのシェルターを6棟設置して、自転車やバイクでの利用者に対応。バス停の屋根にも同じシェルターを採用し、統一したデザインでまとめています。



天候を気にせずバスを待っていただけます



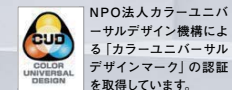
バス停と駐輪場のシェルターは同じデザインで景観をすっきりと



多くの来訪者に対応した大型駐輪場

# 色に着目し、さらにやさしさを増した サポートレールUD〈カラーUDタイプ〉誕生

あらゆる人に使いやすい、使い手の立場に立って開発された「サポートレールUD」。  
屋外手すりとして徹底的にユニバーサルデザインに取り組み、高い評価を得ました。  
そして2008年、より機能を充実させたサポートレールUD〈カラーUDタイプ〉が誕生。  
識別しやすいカラーを2色採用したことで安全性がぐっと向上しています。



NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構による「カラーユニバーサルデザインマーク」の認証を取得しています。

## 認識できる手すり

2006年に発売された「サポートレールUD」は、開発段階からさまざまな検証を行ってきました。ユーザー評価会もそのひとつ。さまざまな方に実際に商品を経験してもらい、その使い心地を評価してもらいました。

「参加者のひとりに弱視の方がいらして『手すりがあることで、そこが階段だと認識できる』と話してくださいました。その一言で、手すりには歩行の補助だけでなく視覚的な役割もあるのだと気づかされたのです」と語るのはTOEX商品企画グループの西川圭一。

はたしてサポートレールUDは誰にも見えやすい手すりなのか？手すりにより効果的な識別機能をもたせるためには、どうすればいいのか？そもそも人によって見え方にどんな違いがあるのか？これ

らの疑問に正面から取り組みました。ユニバーサルデザインの多くは使いやすいデザインに軸を置いており、色に関しては情報量が圧倒的に少ないのが現状です。サポートレールUD〈カラーUDタイプ〉の開発は、まず色覚について調べることから始まったのです。

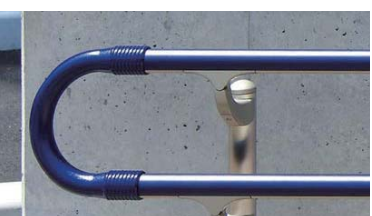
## 人によって異なる色の見え方

世の中は色であふれています。でも今、自分が目に見ている光景は誰が見ても同じ色なのでしょう。人が見ている色彩は客観的に知ることができません。多分、その人も同じように見えているのだらうと思ひ込み、光景を共有しています。

脊椎動物は目の網膜にある錐体という視細胞をセンサーとして色を感じています。ヒトと一部のサルは3種類、ほ乳類のほとんどは2種類の錐体をもっています。また、鳥類や虫類は4種類の錐体をもつと言われていて、錐体の数が多いから優れているというわけではなく、進化の過程

で多様な色覚を獲得したと考えられます。人がもっている3種類の錐体は、光の三原色と呼ばれるL(赤)、M(緑)、S(青)。その3色の合成で色覚が起こりますが、遺伝子のタイプでいずれかの錐体がない、機能しない、あるいは多くの人と特性が少し異なる錐体をもっていることがあり、色の見え方や感じ方は非常に多くのパターンが存在します。NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)では、これらを称して「色弱」としています。

「色弱は、異常でも障害でもありません。「正常な色覚」があり病気になるまで判別できる色が減ってしまったわけでもありません。ヒトが進化する過程で緑の葉のなかから赤い実を早く見つけるため、またはお互いの顔色を見分けるために獲得した能力とか諸説がありますが、長い歴史のなかでヒトは多様な色覚を得ていったのです。人の肌の色が多くのタイプに進化したように、色覚についても同様に、多くの色覚タイプがあるということなのです」と話すのはCUDO副理事長の伊賀一氏。



**アースネイビー**  
コンクリートの壁など高明度の背景に



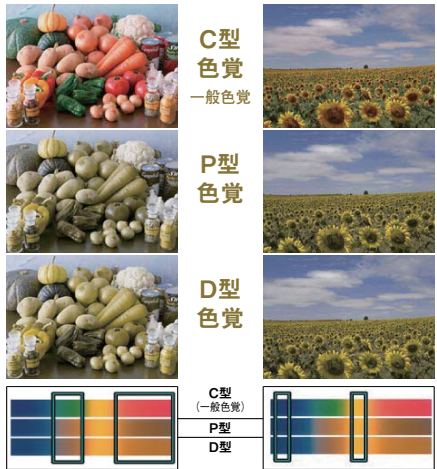
**ライムライトイエロー**  
レンガや植栽など低明度の背景に



**シャイングレー**  
周辺環境に調和させたいときに

◆ 色覚のタイプ別による見え方の違い

色によって見え方に違いが出てきます。色弱者が識別しやすいブルー系、イエロー系で構成されたヒマワリ畑の写真(右下)は、色覚のタイプによる見え方の違いがあまり見られません。



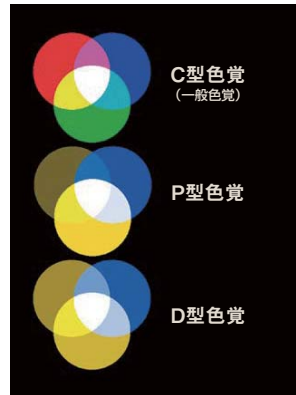
◆ 錐体による色の合成

視細胞である3種類の錐体はL(赤)、M(緑)、S(青)の光の三原色。3色の合成で色覚が起こりますが、錐体の性質によって見え方が異なります。

\*色覚シミュレーション画像は強度の色弱者の色見分けにくさを表したものであり、実際に見えている世界を再現したものではありません。また、色の見え方には個人差があります



NPO法人 カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO) 副理事長の伊賀公一氏



色覚は、3種類の錐体がそろっているC型、L錐体がないP型強度、M錐体がないD型強度などいくつかのタイプに分かれ、血液型のように先天的なものでタイプが変わることはありません。日本人の男性では約95%がC型、約5%がP型やD型などで、男性では約20人に1人、女性では約500人に1人の割合で色弱者がいます。これほどの割合で色弱者がいるのに、カラーユニバーサルデザインはなぜそれほど浸透してこなかったのでしょうか。その理由のひとつとして、色の見え方の違いを説明する難しさがありました。「一般的に多いC型の色覚では赤、橙、黄、黄緑、緑の帯域の色の識別を得意としますが、色弱者はこの帯域の色識別が不得意です。逆にC型(一般色覚)者には苦手な董、青、青緑、緑の領域や明暗の違い、赤と呼ばれる帯域の詳しい識別は色弱者のほうが得意だったりします。赤と緑が見えないとか、色弱者には色が多々見えなかった誤解があり、理論が理解されなかったことが長年の問題でした。言葉だけでは難しいため、CUDOではコンピュータによるシミュレーションを使って、画像や映像の資料を作成しています。ユニバーサルデザインにもさまざまな分野がありますが、色覚については正

色覚的に安全な環境を生み出す

カラーユニバーサルデザインは、すべてのものに必要でしょうか。住宅など個人で設定を変更できるものもあり、環境に応じて対応を検討したほうがよいようです。「何よりも欠かせないのは、やはり公共の場において。数年前まで、地下鉄の案内サイン類はカラーユニバーサルデザインに配慮されていなかったため、急いでい

るときには地下鉄を乗り間違える、トイレで男女の入り口を間違える、ということがありました。トイレの場合、サインの男女の色区別が水色とピンク、背景にグレーが使われて全体が薄い色合いだったりと判別しにくいですね。

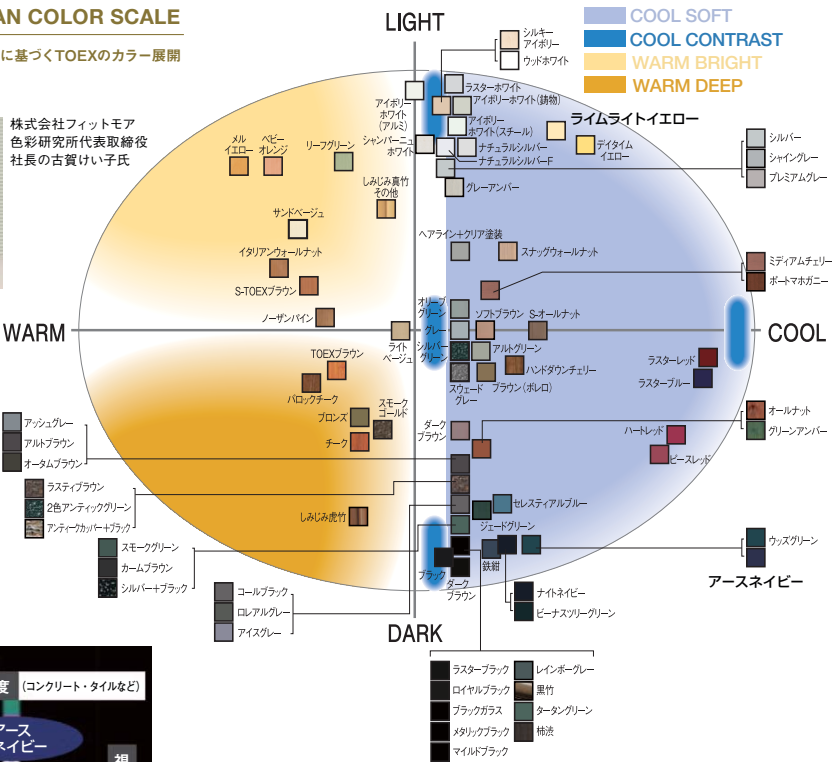
今では東京メトロのトイレサインは色弱者にも見分けやすい色の組み合わせになり、男女の形もよりわかりやすいデザインに改善されています。色弱者の視点に立った色づかいをしていけば、誰にでもわかりやすい表示にすることは可能です。例えば、東京メトロのホームの案内図や路線図。一部、カラーユニバーサルデザインに配慮して改善したことで、高齢者、子ども、外国人にいたるまで、みんなにわかりやすくなり乗り継ぎもしやすくなったと評価されています」と伊賀氏は話しています。

より多くの人が判別しやすくするにはどうすればいいか。それには明度差、コントラストをつけることがひとつ挙げられます。しかし、実際にはそう簡単なことではなく、昼と夜、日陰と日向、照明の有無、夏と冬、背景にあるものなど、環境が変われば条件も変わってきます。カラーユニバーサルデザインに限らず万能なものではなく、その場に合った設置条件から適切な色を選ぶことが大切になってきます。

色弱者が識別しやすい色、設置条件を想定して、サポートレールUD(カラーUDタイプ)にはブルー系とイエロー系を採用することに決定。そして、識別しやす

◆ TOEX HUMAN COLOR SCALE

ヒューマンカラー理論に基づくTOEXのカラー展開



◆ 新色 2色のアクセントカラー

サポートレールUD(カラーUDタイプ)の2色の体系図。アースネイビーは高明るさの背景に、ライムライトイエローは低明るさの背景に設けることで視認性が高まり、カラーユニバーサルデザインの手すりとしての機能が発揮されます

だけでなく設置する景観も考慮し、単なるブルーとイエローではなく、さらに適切な色を追究していきました。

TOEXならではのカラーユニバーサルデザイン

TOEXでは、カラー戦略として人間が生存する地球の自然界の美しい色を体系づけた「ヒューマンカラー理論」を採用しています。この理論を提唱されている株式会社フィットモア色彩研究所代表取締役

社長の古賀けい子氏は「ヒューマンカラー理論とは、人間がもつ、雲行きを察知するなど危機管理能力の延長としての能力、美しいと感じる本能の基準であり、自然界の美しいバリエーションを生かした色彩調和理論。住宅は個人の範囲ですが、公共空間は絶対多数の方がかかわってきます。前提条件を考え、また速くから見て配色を決めることが大切です」と話しています。サポートレールUD(カラーUDタイプ)には、カラーユニバーサルデザインに配慮し景観にもなじむ色として、ヒューマンカラーからブルー系のアースネイビーとイエロー系のライムライトイエローを取り入れることにしました。「アースネイビーは地球の自然を象徴する紺で、大気と水は生命を支えていることから、欧米では生命の色として平和なイメージがあります。ライムライトイエローは朝のやわらかい光で、安らぎの色ですね。黄と白と青からなる色で、朝に降りそそぐ光は青みがかったんです。

きつい色でなくても、明度差を意識することで識別しやすい組み合わせになり、また心地よく目にやさしい空間がつけれます」と古賀氏。

2008年4月に開催された西日本最大の福祉展示会「バリアフリー2008」では、アースネイビーとライムライトイエローの2色についてアンケート調査を実施。会場を訪れた多くの方から、認識しやすく好感がもてる色との評価を得ました。

アースネイビーはコンクリートの壁など高明るさの背景に、ライムライトイエローはレンガや植栽など低明るさの背景に合わせることで、サポートレールUD(カラーUDタイプ)のカラーユニバーサルデザインとしての機能が発揮されます。

まず手すりを識別してもらうことで場所の変化を伝え、手すりのつかまりやすさで歩行者をやさしく支援する。こうした機能をもつサポートレールUD(カラーUDタイプ)を設置することで、空間に安全と安心という価値が生まれます。



1 トrend発信地、青山の一角に設置されたサポートレールUD。急な階段も行き来しやすく



3 幅員の広い階段では、両側から使えるセンター柱タイプを推奨します

# 「手すりから生まれる」

# ユニバーサルデザイン空間



2 都心の裏道にも、さりげないやさしさを

サポートレールUD  
設置現場紹介

- 1 表参道 (東京都渋谷区)
- 2 原宿 (東京都渋谷区)
- 3 田中新田坂路 (埼玉県三郷市)
- 4 北砂水上公園 (東京都江東区)
- 5 JR 岡崎駅 (愛知県岡崎市)



4 緩やかに続くスロープに安心感を与えます



5 駅のバリアフリー化工事で設置されたシェルターと手すり

# エクステリアの屋外展示場「KAP」

カップ

信州駒ヶ根にあるTOEXの体験型屋外展示場KAP（環境アメニティプラザ）が2008年秋、グランドオープンしました。新しく完成した「ひとの風景」では、TOEXが積極的に取り組んでいるユニバーサルデザイン（=UD）を実体験していただけるコーナーを用意。新商品のサポートレールUD（カラーUDタイプ）も展示しています。雄大な自然のなかで、人にやさしいエクステリアをぜひ体感してください。

## グランドオープン



約2000㎡のスペースに、4つの風景をゾーンとして再現。規格商品だけでなく、特注商品や未来型商品を展示して、カタログだけでは伝えきれない商品の実際の使われ方や空間の設計例を表現しています



「ひとの風景」は、サインに表示したUDポイントをクイズ形式で探したり、カラーUDとは何かを学んだり、実際に体を動かして体験するコーナーです



手すりのカラーUD体験コーナーでは、手すりの色と背景色の組み合わせにより、見やすい手すりを体験できます。まちなかにある手すりは頼りになる存在であることが大切です



「そのらの風景」では、TOEXの企業理念である「自然浴（しぜんよく）」や、環境エクステリア営業部の指針である「ネルシス」をテーマに、駒ヶ根の山々を仰ぎ見ながら散歩できる空間をつくりました

### 設計者インタビュー



## 駒ヶ根の魅力と TOEX商品の 可能性を引き出した 屋外展示場

..... 高橋恵一氏 .....  
三井共同建設コンサルタント株式会社 環境事業部 チームリーダー

**KAP** は商品の展示場であり、そこで商品の可能性を引き出すことは、TOEXというメーカーにとって欠かせません。一方で、その土地の魅力を引き出す「可能性」ということも大切です。これからの世の中、土地のもつ風景の特徴や成り立ちをベースとしたデザインが欠かせなくなっています。

そこで、駒ヶ根の豊かな自然の風景と、TOEXの商品が実際に置かれる場所という2つの側面を表現するために「みちの風景」「まちの風景」「そのらの風景」「ひとの風景」など風景のゾーニングを設定し、商品のあり方や使い勝手をシミュレーションできるようにしました。例えば、まちに設置する手すりや柵は、どういう商品が適しているかをその風景のなかで感じ取っていただけるよう、具体的な場所をつくり、商品の可能性を引き出す工夫をしています。

また、少し歩くだけで異なるシチュエーションでの商品のあり方を比較することができます。KAPの設計に際しては、TOEX商品に限らずメーカーの垣根を越えて、これからの外構商品のあるべき姿を見学者に意識してもらえる場所づくりを目指し、できあがった空間です。景観と商品との関係の重要性を提案することで、ファニチャーを活用した美しく、やさしい空間が生まれてくるのではないのでしょうか。

そして駒ヶ根の風景の魅力を生かすため、実は「和」の配置を取り入れて設計しています。商品をひとつ置いては、バランスを取りながら次を置く。左右対称など、本来西洋的な配置が似合いそうな商品群でしたが、そのほうが自然で美しく風景に溶け込むようで、風景そのものの開放感にも貢献しているようです。

見学の際は、商品の使い勝手だけでなく、借景としての背景とのなじみも一緒にご覧になり、駒ヶ根の風景とファニチャーとの取り合いを感じ取っていただきたいですね。



\*KAPの見学をご希望の方は、最寄りの支店・営業所、またはホームページにて承ります。

●設計者のためのビジネスサイト「ネルシスネット」➡<http://www.nelsis.jp>

KAP 〒399-4393 長野県上伊那郡宮田村1972

【アクセス】JR飯田線駒ヶ根駅、または中央道駒ヶ根ICから車で約10分



# 新しい空間を生かす TOEX の商品



## Project File

### うみんぴあ大飯

福井県大飯郡

人々の暮らしに合わせて、環境は変化し新しい姿を見せます。時代を見つめ、地域性を最大限に引き出して誕生した空間は多くの人を惹きつけ、活気をもたらします。

そのポイントは自然との調和。地域がもつ自然環境を存分に体感できるように最新の設備を整え、誰もが心地よく過ごせる工夫が施されています。

それは、景観を壊さない、さりげない演出。

TOEXは、安全を確保しながら、空間が生きてくる商品を提案し、魅力ある新しい空間づくりをサポートします。

## 海を満喫できる 新スポット

若狭湾に面した海岸に開かれた「うみんぴあ大飯」は、2007年にオープンした総合リゾート空間。健康・癒し、交流・感動、エデュテイメント（楽しみながら学ぶ）、環境重視の4つをキーワードとし「海が元気をくれるまち」をコンセプトに、おおい町が取り組んでいる新しいまちづくりプロジェクトです。28.1haの敷地にはいくつもの施設があり、いち早くオープンしたマ

リーナは各設備が整う本格仕様。ほかに、大型映像シアターとアミューズメント展示を備えた「エルガイアおおい」、親子で参加できる体験型児童館「こども家族館」が2008年夏に開館、2009年夏にはリゾートホテルなどの複合型交流施設が完成する予定です。ハーバービューや緑地公園なども併せもち、またバリアフリーにも配慮。海辺空間を存分に楽しめる若狭の新レジャースポットとなっています。

天気の良い日には、マリナーやリアス式海岸など地域特有の風景を眺めながら、

のんびりと散策するのも気持ちがよさそうです。海辺沿いに続くTOEXの柵は、波を思わせるデザインや木の風合いで、和やかな空間を演出。海に寄り添いながら過ごすひとときを、さりげなく、確実にサポートします。

### アクセ

JR小浜線若狭本郷駅から徒歩20分

### 商品データ

柵 DK2型、楽樹LJ型



鹿プラスチックをリサイクル利用した人工木柵



ガラスカーバーで波を表現したアルミ柵。支柱とのツートンカラーが景観を引き立てます



大人も子ども共に使いやすい2段式の手すりを伝って水辺近くへ

約600mに及ぶ柵が池に沿って設置され、人々に安心感を与えます



池を中心に商業施設や住宅が配置された水辺のまち



展望台からの気持ちいい水辺の風景が望めます

## Project File

### 越谷レイクタウン

埼玉県越谷市

#### 暮らしを彩る 水辺のまち

全国初の、水辺空間と都市空間が融合したまちとして、2008年春にまち開きした「越谷レイクタウン」。越谷市を流れる中川、綾瀬川の浸水被害を防ぐ治水対策と土地区画整理事業による新市街地整備を目的に、1996年に特定土地区画整理事業に決定されて以来、2014年の造成完了に向けて開発を進めています。

約225.6haにも及ぶ同地区には、住宅や公園のほか、2008年10月に国内最大級のショッピングセンターとなるイオンレイクタウンがオープン。その内容は、スーパーマーケットや専門店などが並ぶモール、シネマコンプレックス、アミューズメント施設、と充実しています。

そして、越谷レイクタウンのシンボルともいえるのが「大相模調節池」です。上野の不忍池の約3倍もあるこの池を中心に、住宅、商業施設、温泉施設、公園

などが水辺を囲むようにして街並みができあがります。治水対策のための池ですが、沿岸に遊歩道や湖畔林を設けたり、水上ではカヌーやボートが楽しめるようになっていて、親水性も兼ねて計画されています。さらに、ショッピングセンター側には水上ステージなどがあり、にぎわいと憩いの場としてのイベントゾーン、その対岸は自然と人とのふれあいのためのピオトープゾーンとして環境に合わせた演出が施されています。

大相模調節池に造られた展望台は、散策途中の休憩や水辺の風景を眺めるのに最適な場所。TOEXの柵に手をかけて池を望めば、池の開放的な空間がより身近に感じられます。

#### アクセス

JR武蔵野線越谷レイクタウン駅下車

#### 商品データ

「柵」DK1型（サポートレール1型付）

# 医療法人郷の会 こころの郷クリニック

和歌山県橋本市



四阿の下、腰をかけてのんびりと過ごす、憩いのひととき



敷地内には、座る場所を多く設けています



左 / シンボルツリーとベンチが印象的な建物正面

上 / 施設の雰囲気合ったベンチが所々に

## 人々にやすらぎを与える 癒しの空間

「紀伊山地の霊場と参詣道」のひとつとして2006年、ユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録された高野山。和歌山県橋本市はその霊場と参詣道の北端に位置し、同市高野口町は平安時代以降、高野山の登山口、金剛峰寺の門前町・宿場町として栄えた歴史があります。古くから織物産業が盛んで、現在でもハイル織物の生産量日本一を誇っています。

周辺は山、市内には紀の川が流れる自然に恵まれた高野口町に2007年6月、医療法人郷の会「こころの郷クリニック」が開院しました。多くの植栽と水の演出を取り入れていて、木々や水の音が心地よく、また周囲になじむ落ち着いた外観が、訪れた人々をやさしく出迎えます。

施設正面にはシンボルツリーを配置。それを囲むように設えたベンチは、樹木に合わせた擬木の質感と丸いデザインで風景に溶け込んでいます。所々に置かれた四阿やベンチは、腰を下ろしてゆつく

りと語り合えるようにとの配慮から。TOEXのさまざまな商品によって気持ちにゆとりを与える安らぎの空間を創造しています。

### アクセス

JR和歌山線高野口駅下車

### 商品データ

「四阿」 TM-21P213  
「ベンチ」 サークルベンチTM-71P017、C-2型  
「テーブルセット」 TM-72P029



Project File

名古屋市立熊の前小学校

愛知県名古屋市



グリッドフェンスを使用しているため、透明性のある学校という雰囲気に



門柱が回転して開閉する大型門扉

エコロジカルで明るく  
安全な学びの場

名古屋市立熊の前小学校は、2008年4月、同市立徳重小学校と同市立神の倉小学校から分離・独立して開校した新しい小学校です。

校舎の新築にあたり、「エコスクール・パイロットモデル事業」を取り入れることにしました。文部科学省では、同事業を「環境負荷の低減や自然との共生に対応するとともに、環境教育の教材として

活用できる学校施設の整備を目的とし、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省が連携協力して、太陽光発電、木材利用、建物緑化、雨水利用の導入など環境を考慮した学校施設（エコスクール）の整備を推進するもの。本事業は、都道府県や市町村が事業の実施主体となり、公立学校施設の新築、増築、改築又は大規模改造に併せて実施する」としています。

同校は2006年に認定され、太陽光発電、省エネルギー・省資源、自然共生、木材利用を導入。完成したエコロジカルな

校舎は3階建てで、淡い黄色の外観にステンレスの引戸が組み合わさり、明るく爽やかな印象に。電気錠仕様の門やフェンスで地域に開けた空間を保ちながら、子どもたちの安全を守ります。

アクセ

名古屋市営地下鉄桜通線野並駅から名古屋市バス熊の前停留所下車

商品データ

「引戸」NTH「門扉」NTH門扉電気錠仕様、NTR「グリッドフェンス」HGNA



グリッドフェンスを設けることで、出入口の安全性が高まります



学校側から見た門。引戸は大型ながらもスムーズな開閉が特長です

# TOEXのビジネスサイト紹介

ネルシスネットは環境に関するさまざまな情報を掲載した設計者向けのウェブサイトです。  
TOEXの商品に関する情報やCADデータはもちろん、情報誌「ネルシス」のバックナンバーや  
独自で取材した旬な話題を連載で紹介するなど、充実した内容になっています。  
ぜひ、情報満載のネルシスネットをご覧ください。

## Nelsis-Net [ネルシスネット]

<http://www.nelsis.jp/>



## 人気ランドスケープアーキテクトが語る——「わたしを巡る風景」



第一線で活躍する5人の  
ランドスケープアーキテクト  
による連載です。  
景観にまつわるご自身の  
思い出や体験を  
語っていただきました。  
専門家ならではの  
風景に対する着目点が  
随所に読み取れます。



有限会社アースケープ代表取締役



千葉大学大学院園芸学研究科准教授



株式会社 E-DESIGN 代表取締役



株式会社ランドスケープ・プラス代表

『ネルシス』のバックナンバーを  
ご覧いただけます



ウェブでも、情報誌「ネルシス」の最新号と、創刊号から  
これまでに発行されたバックナンバーがご覧になれます。  
さらに、プレゼントも実施。ウェブからアンケートに感想を  
お寄せいただいたお客様に500円の図書カードを進呈し  
たします。

## 東京の下町を散策 「手すりのある風景」



TOEXの手すり「サポートレール  
シリーズ」の設置現場である根  
津・千駄木、上野恩賜公園、浅  
草・吾妻橋、秋葉原、御茶ノ水  
レポート。思わず歩いてみたくな  
る、下町ならではの情緒あふれる  
スポットを紹介しています。



ほかにも... 今号の「ネルシス」38~43ページで特集した手す  
り、サポートレールUDの開発話や、TOEXの営業社  
員を紹介した連載も。連載は定期的に新しいテーマに変えて、今後も続きます。  
どうぞお楽しみに。



サポートレールUD開発プロジェクト  
「プラス・ストーリー」



設計担当営業の紹介「ドラマな仕事」

# PROFILE

## 協力者紹介



**西村幸夫**

にしむら ゆきお

東京大学教授、工学博士。1952年福岡県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。同大学院修了。96年から現職。この間、MIT客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。専門は都市計画。国際記念物遺跡会議前副会長、文化庁文化審議会世界遺産特別委員会委員など学外の役職多数。『都市保全計画』（東京大学出版会）、『西村幸夫 風景論ノート』（鹿島出版会）など著書も多数。



**越澤明**

こしざわ あきら

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。国の住宅・都市政策の審議会の長として景観法、都市緑地法、歴史まちづくり法などの制定を推進。社会資本整備審議会住宅地分科会長、都市計画・歴史的風土分科会長代理、歴史的風土部会長。著書「東京都市計画物語」（ちくま学芸文庫）、「東京の都市計画」（岩波新書）、「復興計画」（中公新書）など。



**八木祐三郎**

やぎ ゆうぞう

1982年山口県生まれ。04年法政大学工学部建築学科卒業。06年同大学院工学研究科建設工学専攻修了。大学院ではベトナム、香港、マカオなど東南アジア・東アジアの都市史調査に参加。06年第10回建築史交流会で「マカオ・チャイナタウンの空間構造と近代の変容課程について」を発表し、建築史研究賞を受賞。07年株式会社都市環境研究所に入社。現在、横浜市や中央市などの建物共同化や再整備事業にかかわっている。



**上山良子**

うえやま りょうこ

1962年上智大学外国語学部英語学科卒業。78年カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部大学院ランドスケープ学専攻修了。77年旧ローレンス・ハルプリン事務所にプロジェクトデザイナーとして参加。82年より上山良子ランドスケープデザイン研究所設立。95年より長岡造形大学教授。08年春、同大学学長に就任。主な仕事に、芝浦シーパンス、日立化学館屋上庭園、長岡平和の森公園、長崎水辺の森公園、きたまちしましま公園など多数。08年に作品集「LANDSCAPE DESIGN 一場を創る」（美術出版社）を上梓。  
http://www.ueyamalandscape.co.jp



**三谷 徹**

みたに たかお

1960年静岡県沼津市生まれ。ハーバード大学大学院ランドスケープ・アーキテクチャ修士修了。東京大学大学院建築学専攻博士（工学）取得。ピーター・ウォーカー&マーサ・シュワルツ事務所、ササキエンバロメントデザインオフィス、滋賀県立大学を経て現在、千葉大学大学院園芸学研究科准教授。オンサイト計画設計事務所とともに設計活動をする。主な作品に、風の丘（97年）、品川セントラルガーデン（03年）、Honda 歴史的ビルランドスケープ（05年）、島根県立古代出雲歴史博物館（07年）など。著書・訳書に「風景を読む」（丸善）、「アースワークの地平」など。



**シバラ タク**

しおばら たく

フォトジャーナリスト。アンビエント・スタジオ代表。1989年多摩美術大学卒業。海外の都市計画、環境問題、アート、建築などについての写真と論説。「エスクアエア」[カーサ・フルータス]「ランドスケープデザイン」誌ほかに掲載。92年APAビエンナーレ出品。2005年に写真集「BERLIN East side-West side Vanishing point」を出版。舞台「東京-ベルリン2005-伯林大都市交響楽」（後援・ドイツ大使館、ベルリン市政府 助成・朝日新聞文化財団 ほか）参加。06年『美術空間散歩』（共著/エスクアエア・マガジン・ジャパン）出版。ほか、展覧会、講演会等、多数。

[撮影協力] 白石ちえこ、西村 満（ニムラ・スタジオ）、小澤純一（東甲メゾン）、石原洋一（相互企画印刷）、萩原美津雄（スライムコーポレーション）  
[ディレクション] 高山佳代子、百瀬かほる（フォンテルノ） [アートディレクション & デザイン] 盛田尚弘 [校正] 中井しのぶ

**IOEX**  
暮らしをつむぐエクステリア  
トエックス

設計者のためのビジネスサイト「ネルシスネット」 <http://www.nelsis.jp>

ホームページで本誌のアンケート、バックナンバーの紹介を行っています。  
商品図面のCADデータサービスも行っておりますので、ぜひご利用ください。

**本 社** 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12  
**札幌駐在** 〒063-0826 北海道札幌市西区発寒6条11丁目1-1 新道北口ビル5F  
TEL.011-671-8900  
**東北支店** 〒981-3135 宮城県仙台市泉区八乙女中央1-2-23  
TEL.022-776-8562  
**関東支店** 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸5-4-41  
TEL.03-3290-8560  
**長野営業所** 〒381-0031 長野県長野市西尾張部1112-4  
TEL.026-263-0872  
**静岡営業所** 〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-13-18  
TEL.054-238-3190

**中京支店** 〒468-0011 愛知県名古屋市中区平針1-2105  
TEL.052-807-5520  
**関西支店** 〒560-0054 大阪府豊中市桜の町6-9-27  
TEL.06-6844-9233  
**中国支店** 〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西3-3-51  
TEL.082-849-5661  
**九州支店** 〒818-0134 福岡県太宰府市大学大佐野3-13-7  
TEL.092-925-3230

\*本誌掲載内容および写真・図版の無断転載はたかく断ります。



STREET  
FURNITURE

世界のストリートファニチャー..... ⑧  
[スペイン：グラナダ]

文・写真/編集部

Spain

地中海のさわやかな風を受けた帆のように波打つ屋根が特徴のバス停

## 軽やかに波打つ屋根のバス停

イベリア半島の南部、シエラネバダ山脈のふもとにある都市グラナダは、イスラム建築の最高傑作で世界遺産登録されたアルハンブラ宮殿がある街として有名だ。かつてイスラム王朝が栄えた都であり、2つの世界遺産を有する歴史ある街とあって、国内でも人気の観光地になっている。

2005年、高速道路のインター近くに、商業施設、シネマコンプレックス、飲食店を備えたアメリカ型のショッピングセンター「ネプチューン」がオープン。道路を挟んで同じ名前のウエルネスセンターやディスコも併設され、若者注目のスポットになっている。

写真のバス停はこのショッピングセンター前に新しく設置されたものらしく、まだ広告も入っていない。透明の波打つ屋根と腰壁が、明るい雰囲気をつくっている。



対面にある小さいタイプのバス停



ショッピングセンター「ネプチューン」の正面



識別しやすく心地よい色

新商品

# サポートレールUD

## 〈カラーUDタイプ〉

あらゆる人に使いやすい、使い手の立場に立って開発された「サポートレールUD」。

屋外用手すりとして徹底的なユニバーサルデザインに取り組んだ商品として、高い評価を得ました。

そして2008年、より機能を充実させた〈カラーUDタイプ〉が誕生。識別

しやすいカラーを2色採用したことで安全性がぐっと向上しています。



NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構による「カラーユニバーサルデザインマーク」の認証を取得しています。